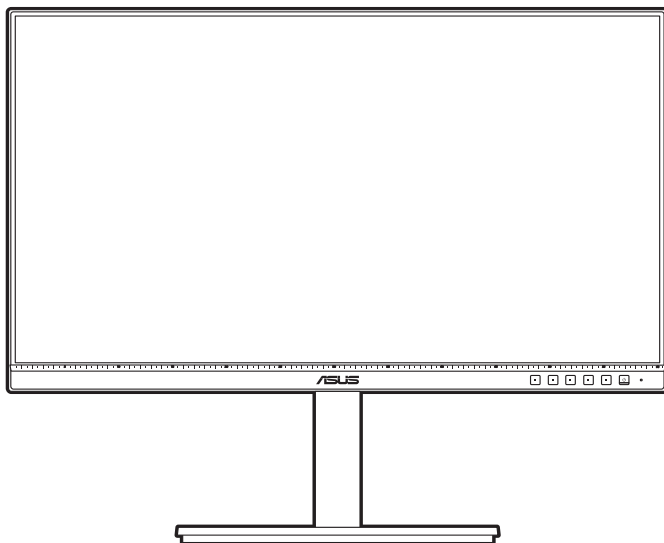


ASUS®

PA278CV

**シリーズ LCD モニター
ユーザーガイド**



HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

第 1 版

2020 年 10 月

Copyright © 2020 ASUSTeK COMPUTER INC. 版權所有。

購入者がドキュメントをバックアップの目的に保管する場合を除き、本マニュアルの内容は、記載されている製品およびソフトウェアを含み、いかなる部分も、ASUSTeK COMPUTER INC.（「ASUS」）の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、複製、転送、転載、検索システムに保管、他の言語に翻訳することは禁じられています。

次の場合は製品保証またはサービスの対象外となります：(1) ASUS の書面による承認なく製品を修理、変更、改造した場合、または (2) 製品のシリアル番号が読めなかったり紛失した場合。

ASUS は本マニュアルを現状のまま配布し、商品性や特定目的への適合性を含む一切の明示的あるいは黙示的保証はいたしかねます。本マニュアルまたは製品の故障が原因による損害の可能性について ASUS が報告を受けていた場合を含み、いかなる場合も、ASUS、同社の取締役、執行役員、従業員、販売店は、損失、事業損失、使用やデータの損失、事業の中断などの損害を含む一切の間接損害、特別損害、付随的損害、派生的損害に対し、責任を負いかねます。

本マニュアルに記載されている仕様と情報は情報提供を目的としたものであり、予告なしに変更されることがあり、ASUS の責任とは見なされません。ASUS は、本マニュアルに記載された製品およびソフトウェアを含み、本マニュアルに記載された一切の間違いや不正確性について責任を負いかねます。

本マニュアルに記載された製品および会社名は、該当する会社の登録商標または著作権を有する場合があります。侵害することなく、指示および表示、所有者の利益にのみ使用します。

目次

目次	iii
ご注意	iv
TCO 認証.....	vi
安全情報	vii
お手入れ方法	viii
Takeback Services.....	ix
第 1 章：製品の説明	
1.1 はじめに！	1-1
1.2 同梱されているもの.....	1-1
1.3 各部の説明	1-2
1.3.1 前面図	1-2
1.3.2 後面図	1-4
1.3.4 その他の機能	1-5
第 2 章：設定	
2.1 モニターのアーム / ベースを組み立てる	2-1
2.2 アーム / ベースを取り外す (VESA 規格壁取り付け用)	2-1
2.3 モニターを調整する.....	2-2
2.4 ケーブルを接続する.....	2-3
2.5 モニターの電源を入れる.....	2-4
第 3 章：一般説明	
3.1 OSD (スクリーン表示) メニュー	3-1
3.1.1 設定の仕方	3-1
3.1.2 OSD 機能の説明	3-2
3.2 仕様の要約	3-10
3.3 アウトライン寸法	3-12
3.4 トラブルシューティング (よくあるご質問)	3-13
3.5 サポートするオペレーティングモード	3-14

ご注意

米国連邦通信委員会 (FCC) 宣言

本製品は、FCC 基準パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規定されます。

- 電波障害を起こさないこと、
- 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずるクラス B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成および使用し、また放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しない場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオン/オフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置を別の電源に接続してください。
- 販売店やラジオ / ビデオの専門技術者に問い合わせる。



FCC 規制への準拠を確実にするには、シールドされたケーブルを使ってモニターをグラフィックスカードに接続する必要があります。FCC 準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

ENERGY STAR 準拠製品



ENERGY STAR とは、米国環境保護庁と米国エネルギー省のジョイントプログラムで、エネルギー効率の良い製品および実践を通して、お金を節約し、環境を保護することができます。

ENERGY STAR ロゴ付きのすべての ASUS 製品は、ENERGY STAR 基準に準拠しており、デフォルトで、電源管理機能が有効になっています。モニターおよびコンピューターは、それぞれ、10 分間または 30 分間未使用状態が続くと、自動的にスリープモードに移行します。コンピューターをスリープモードから復帰させるには、マウスをクリックするか、キーボードのキーを押してください。電源管理機能およびそのメリットの詳細については、<http://www.energystar.gov/powermanagement> にアクセスしてください。また、ENERGY STAR ジョイントプログラムの詳細については<http://www.energystar.gov> にアクセスしてください。



注: ENERGY STAR は、FreeDOS および Linux ベースのオペレーティングシステムをサポートしません。

カナダ通信省宣言

本デジタル機器は、カナダ通信省の電波障害規制に定められたデジタル機器の無線雑音放出に対するクラス B 制限に適合しています。

本クラス B デジタル機器はカナダ ICES-003 に準拠します。

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference - Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouiller du Canada.

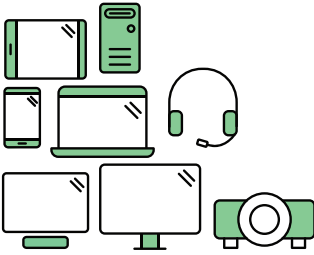


TCO 認証

A third-party certification according to ISO 14024



Toward sustainable IT products



Say hello to a more sustainable product

IT products are associated with a wide range of sustainability risks throughout their life cycle. Human rights violations are common in the factories. Harmful substances are used both in products and their manufacture. Products can often have a short lifespan because of poor ergonomics, low quality and when they are not able to be repaired or upgraded.

This product is a better choice. It meets all the criteria in TCO Certified, the world's most comprehensive sustainability certification for IT products. Thank you for making a responsible product choice, that help drive progress towards a more sustainable future!

Criteria in TCO Certified have a life-cycle perspective and balance environmental and social responsibility. Conformity is verified by independent and approved verifiers that specialize in IT products, social responsibility or other sustainability issues. Verification is done both before and after the certificate is issued, covering the entire validity period. The process also includes ensuring that corrective actions are implemented in all cases of factory non-conformities. And last but not least, to make sure that the certification and independent verification is accurate, both TCO Certified and the verifiers are reviewed regularly.

Want to know more?

Read information about TCO Certified, full criteria documents, news and updates at [tcocertified.com](https://www.tcocertified.com). On the website you'll also find our Product Finder, which presents a complete, searchable listing of certified products.

安全情報

- モニターをセットアップする前に、同梱されている説明書をすべて熟読ください。
- 火災や感電を避けるために、モニターは雨や湿気にさらさないでください。
- モニターキャビネットは開けないでください。モニター内の高電圧で大怪我をする危険があります。
- 電源の故障はご自分で修理しないでください。資格のあるサービス担当技師または小売店までご相談ください。
- 製品を使用する前に、すべてのケーブルが正しく接続されていること、および電源ケーブルに破損がないことを確認します。破損がある場合は直ちに販売店までご連絡ください。
- キャビネットの背面や上部のスロットや開口部は通気用です。スロットは塞がないでください。正しく換気されている場合を除き、本製品を暖房器具やその他の熱を発生するもののそばに置かないでください。
- モニターはラベルに表示されている電源タイプでのみご使用ください。ご自宅に供給されている電源タイプが分からない場合は、販売店または地域の電力会社までお問い合わせください。
- お住まいの地域の電源規格に適合する電源プラグをお使いください。
- 電源ストリップや延長コードに負荷を掛け過ぎないようにします。過負荷は火災や感電の原因になることがあります。
- 埃、湿度、高温は避けてください。モニターは濡れる可能性がある場所には置かないでください。モニターは安定した場所に設置します。
- 雷や長期間使用しない場合は、ユニットの電源を抜きます。これにより電力サージによる破損を防ぎます。
- モニターキャビネットのスロットに固形物や液体を入れしないでください。
- モニターが正しく動作するように、100～240V AC 間の正しく設定されたコンセントの付いた UL 規格のコンピュータでのみ使用してください。
- モニターに技術的な問題が発生した場合は、資格のある技師または小売店までご相談ください。
- 音量調整やイコライザーを中心設定からずらすと、イヤフォン/ヘッドフォンの出力電圧が上がるため、音圧レベルも上がります。



X 印の付いたごみ箱の記号は、製品（電気・電子機器、水銀を含むボタン式バッテリー）を家庭ごみと一緒に廃棄してはいけないことを示しています。電気製品の廃棄については、地方自治体の規制を確認してください。

お手入れ方法

- モニターを持ち上げたり位置を変えたりする前に、ケーブルと電源コードを取り外すことをお勧めします。モニターを配置する際は、正しい手順で持ち上げます。モニターを持ち上げたり運ぶ際には、モニターの端をつかみます。スタンドやコードを持ってディスプレイを持ち上げないでください。
- お手入れ。モニターの電源を切って電源コードを取り外します。モニターの表面は、リンフリーで研磨剤を付けてない布を使って拭いてください。頑固な汚れは、マイルドなクリーナーで湿らせた布で取り除いてください。
- アルコールやアセトンを含むクリーナーは使用しないでください。液晶画面用のクリーナーをお使いください。クリーナーを直接画面にスプレーしないでください。モニターの内部に液体が入り、感電の原因になることがあります。

次のような症状はモニターの故障ではありません：

- ご使用のデスクトップの模様により、画面の明るさがわずかに不均一に見える場合があります。
- 同じ画面を数時間表示した後で画像を切り替えると、前の画面の残像が残ることがあります。画面はゆっくりと回復します。または、電源スイッチを数時間切ってください。
- 画面が黒くなったり点滅する場合や動作しない場合は、販売店またはサービスセンターで修理してください。画面はご自分で修理しないでください。

本ガイドで使用する記号の意味



警告：怪我を防止するための情報です。



注意：コンポーネントの破損を防止するための情報です。



重要：遵守しなければならない情報です。



注記：アドバイスと追加情報です。

詳細情報について

製品とソフトウェアの最新情報については下記をご覧ください。

1. ASUS Web サイト

ASUS Web サイトでは、ASUS ハードウェアおよびソフトウェア製品について世界中に最新情報を提供しております。<http://www.asus.com> を参照してください。

2. その他のドキュメント

製品には、販売店が添付したドキュメントが同梱されていることがあります。そのようなドキュメントは標準パッケージには含まれていません。

Takeback Services

ASUS recycling and takeback programs come from our commitment to the highest standards for protecting our environment. We believe in providing solutions for our customers to be able to responsibly recycle our products, batteries and other components as well as the packaging materials.

Please go to <http://csr.asus.com/english/Takeback.htm> for detail recycling information in different region.

1.1 はじめに！

ASUS® 液晶モニターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ASUS の最新のワイドスクリーン液晶モニターは、大視野角のクリアで鮮明な画面とさまざまな機能で、より一層見やすくなりました。

これらの各種機能で、便利で快適なビジュアル体験を心ゆくまでお楽しみください。

1.2 同梱されているもの

パッケージに次の項目が揃っていることを確認してください。

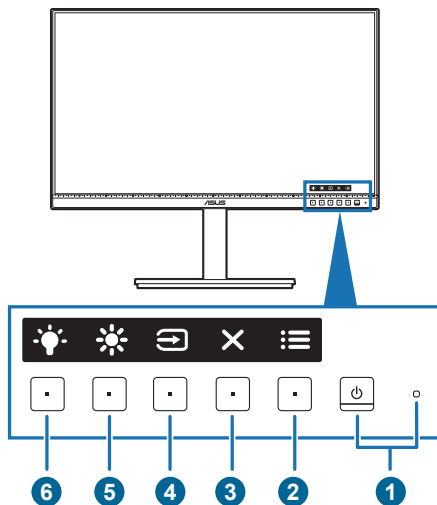
- ✓ 液晶モニター
- ✓ モニターの台
- ✓ クイックスタートガイド
- ✓ 保証書カード
- ✓ 電源コード
- ✓ HDMI ケーブル（別売り）
- ✓ DisplayPort ケーブル（別売り）
- ✓ USB C - A ケーブル（別売り）
- ✓ USB C - C ケーブル（別売り）
- ✓ カラー校正テストレポート
- ✓ ProArt ウェルカムカード
- ✓ ケーブルホルダー



破損しているものや入っていないものがある場合は、直ちに小売店までご連絡ください。

1.3 各部の説明

1.3.1 前面図



1. 電源ボタン/電源インジケータ
 - モニターの電源をオン/オフにします。
 - 電源インジケータの色定義は次の表のとおりです。

ステータス	説明
白	オン
橙色	スタンバイモード
オフ	オフ


2. ≡ メニュー ボタン：
 - このボタンを押すと、OSD がオフのとき OSD メニューが表示されます。
 - OSD メニューに入ります。
 - 5 秒間長押しすると、キーのロック機能のオンとオフが切り替わります。
3. ✕ 閉じるボタン：
 - このボタンを押すと、OSD がオフのとき OSD メニューが表示されます。
 - OSD メニューを終了します。

4.  入力選択ボタン：


- このボタンを押すと、OSD がオフのとき OSD メニューが表示されます。
- 使用可能な入力ソースを選択します。



HDMI/DisplayPort/USB Type-C ケーブルでモニターと接続した後、 ボタン（入力選択ボタン）を押すと HDMI、DisplayPort、USB Type-C () 信号が表示されます。

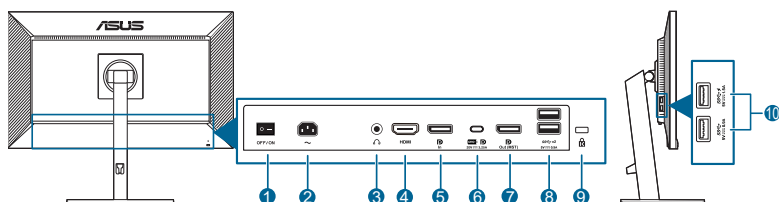
5.  ショートカット **1**

- このボタンを押すと、OSD がオフのとき OSD メニューが表示されます。
- デフォルト：明るさホットキー
- ホットキーの機能を変更するには、ショートカット > ショートカット 1 メニューに移動します。

6.  ショートカット **2**

- このボタンを押すと、OSD がオフのとき OSD メニューが表示されます。
- デフォルト：ブルーライト低減ホットキー
- ホットキーの機能を変更するには、ショートカット > ショートカット 2 メニューに移動します。

1.3.2 後面図



1. **電源スイッチ**。スイッチを押して電源のオン/オフを切り替えます。
2. **AC 入力ポート**。このポートは電源コードを接続します。



重要:本製品付属のACアダプターおよび/または電源コード以外で本機に電力を供給しないでください。
付属のACアダプターおよび/または電源コードを他の製品に使用しないでください。故障・事故の原因となります。

3. **イヤホンジャック**。このポートは、HDMI/DisplayPort ケーブルが接続されているときにしか使用できません。
4. **HDMI ポート**。HDMI 対応機器と接続します。
5. **DisplayPort イン**。このポートは DisplayPort 互換デバイスに接続するためのものです。
6. **USB 3.2 Gen 1 タイプ C**。このポートは、USB アップストリームケーブルに接続するためのものです。この接続は USB 電源とデータ配信に対応しています。



このモニターは、Super-Speed USB 3.2 Gen 1互換 (5Gbps) です。このポートは出力電圧 5V/3A、9V/3A、12V/3A、15V/3A、20V/3.25A で最大 65W を供給します。USB Type-C ケーブルを接続すると DisplayPort 信号を入力したり、電力を出力したり、モニターの USB Type-A ポート (ダウンストリーム) を有効にしたりすることができます。USB C - A ケーブルを接続すると、モニターの USB Type-A ポート (ダウンストリーム) を有効にします。

7. **デジチェーン DisplayPort 出力です**。複数の DisplayPort 対応モニターと接続します。
8. **USB 3.2 Gen 1タイプA**。これらのポートは USB キーボード/マウス、USB フラッシュドライブなどの、USB デバイスに接続するためのものです。
9. **ケンジントンロックスロット**。
10. **USB 3.2 Gen 1タイプA**。これらのポートは USB キーボード/マウス、USB フラッシュドライブなどの、USB デバイスに接続するためのものです。



SS⇄アイコンが付いたポートは BC1.2 対応です。

1.3.4 その他の機能

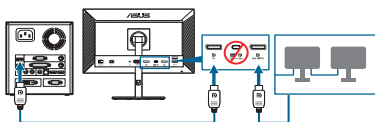
1. デイジーチェーン（一部モデルのみ）

DisplayPort ポートを使ってデイジーチェーンを行うことができます。デイジーチェーンは最大 4 台のモニターを次々と繋ぎ、出力元からモニターへ映像を送ります（入力源が 2560 x 1440@30 Hz であり、USB-C デバイスが接続されていないとき）。デイジーチェーンを行うには、入力映像が配信できるか確認してください。

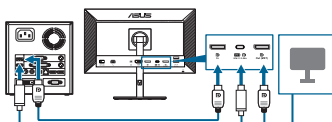


OSD メニューの DisplayPort ストリームが DisplayPort 1.2 で、入力源の自動検出がオフに設定されているとき使用できます。DisplayPort ストリームを DisplayPort 1.1 に設定すると、接続したすべてのモニターには同時に同じ映像が表示されます（クローン）。

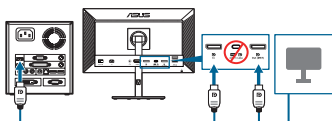
1920x1080@60Hz



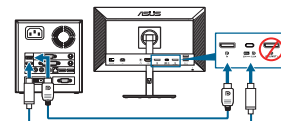
1920x1080@60Hz



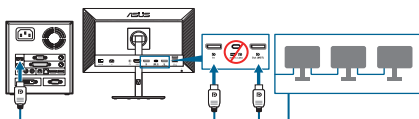
2560x1440@74.9Hz



2560x1440@74.9Hz



2560x1440@30Hz



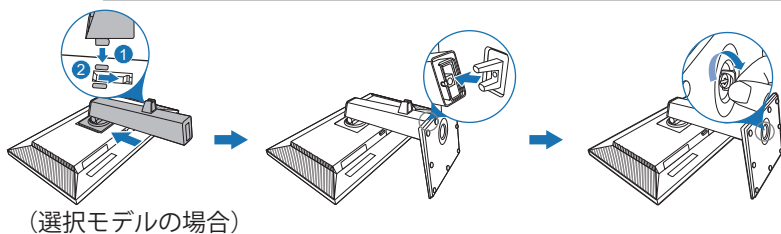
2.1 モニターのアーム / ベースを組み立てる

モニターのベースを組み立てるには、以下の手順に従います。

1. モニター面の正面を下にしてテーブルの上に置きます。
2. スタンドアセンブリのアームヒンジをモニターの背面にあるコンパートメントに配置します（選択モデルの場合）。
3. アームのつまみがベースの凹みにしっかりと収まるように、ベースをアームに取り付けます。
4. 付属のネジを使って、アームをベースに固定します。



モニターの破損を防ぐために、柔らかい布を掛けたテーブルの上に置くことをお勧めします。



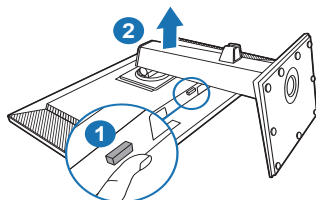
ベースのネジサイズ：M6 x 16.5 mm。

2.2 アーム / ベースを取り外す (VESA 規格壁取り付け用)

本モニターの取り外し可能アーム/ベースは、VESA 規格壁取り付け用に特別に設計されています。

アーム/ベースの取り外し：

1. モニター面の正面を下にしてテーブルの上に置きます。
2. 取り外しボタンを押して、アーム/ベースをモニターから取り外します（図 1）。



(図 1)



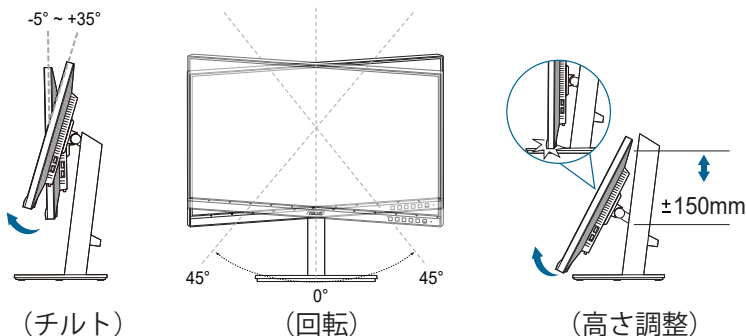
モニターの破損を防ぐために、柔らかい布を掛けたテーブルの上に置くことをお勧めします。



- VESA 壁取り付けキット (100 x 100 mm) は別売です。
- 22.7kg 以上の重量 / 荷重を持つ UL 指定の壁取り付けブラケットのみを使用してください (ねじ寸法 : M4 x 10 mm)

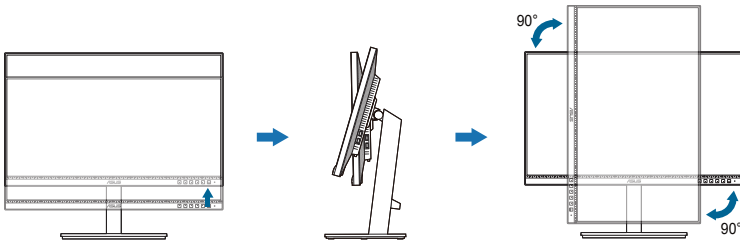
2.3 モニターを調整する

- 最適な表示のために、モニターの正面を見てから、最も見やすくなるようにモニターの角度を調整することをお勧めします。
- 角度を変えているとき、スタンドを持ち、モニターが落ちることを防ぎます。
- モニターの角度を $+35^\circ$ から -5° の間で調整し、左右どちらからでも 45° のスイベル調整が可能です。モニターの高さを ± 150 mm の範囲内で調整することもできます。



モニターを旋回する

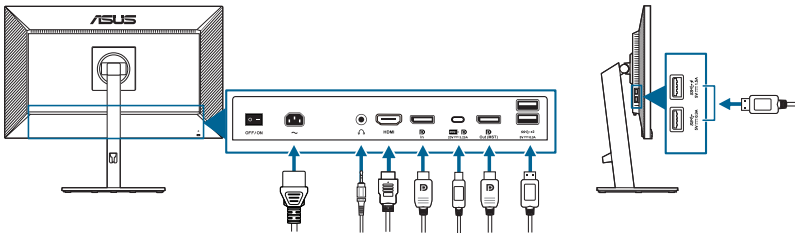
1. モニターをもっとも高い位置まで持ち上げます。
2. モニターをその最高の角度まで傾けます。
3. モニターを必要な角度まで時計/反時計回りに旋回します。



視野角を変更する際にはモニターが多少揺れますが、これは通常の動作です。

2.4 ケーブルを接続する

次の指示に従ってケーブルを接続します。



- **電源コードの接続**：電源コードの一方の端をモニターの AC 入力ポートにしっかり接続し、もう一方の端を電源コンセントに接続します。
- **HDMI/DisplayPort/USB Type-C* ケーブルを接続する**：
 - a. HDMI/DisplayPort/USB Type-C* ケーブルの一方の端をモニターの HDMI/DisplayPort/USB Type-C ジャックに差し込みます。
 - b. HDMI/DisplayPort/USB Type-C* ケーブルのもう一方の端をデバイスの HDMI/DisplayPort/USB Type-C ジャックに差し込みます。



USB 公式 Type-C ケーブルをお使いになることをお勧めします。信号源が DP Alt モードに対応している場合は、オーディオとデータ信号を転送できます。

- **イヤフォンを使う**：HDMI/DisplayPort/USB Type-C 信号を入力する場合は、プラグタイプの端子をモニターのイヤフォン ジャックに挿入します。



- **USB 3.2 Gen 1ポートを使う：**

- » アップストリーム：USB Type-C ケーブルを使って、アップストリーム用に Type-C コネクタをモニターの USB Type-C ポート (USB 3.1A) に接続し、もう片方のコネクタをコンピュータの USB Type-C ジャックに接続します。または、USB Type-C -A ケーブルを使って、アップストリーム用に Type-C コネクタをモニターの USB Type-C ポート (USB 3.1A) に接続し、Type-A コネクタをコンピュータの USB Type-A ジャックに接続します。コンピュータに最新の Windows 7/Windows 10 オペレーティングシステムがインストールされているか確認してください。これにより、モニターの USB ポートを使用できるようになります。
- » ダウンストリーム：USB ケーブルを使ってデバイスとモニターの USB Type-A ジャックを接続します。



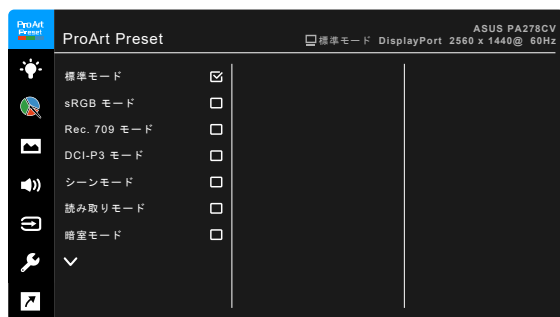
これらのケーブルを接続するとき、OSD メニューの入力選択項目から希望の信号を選択することができます。

2.5 モニターの電源を入れる

電源ボタン  を押します。電源ボタンの位置については 1-2 ページを参照してください。電源インジケータ  が白く点灯し、モニターの電源が入ります。

3.1 OSD（スクリーン表示）メニュー

3.1.1 設定の仕方

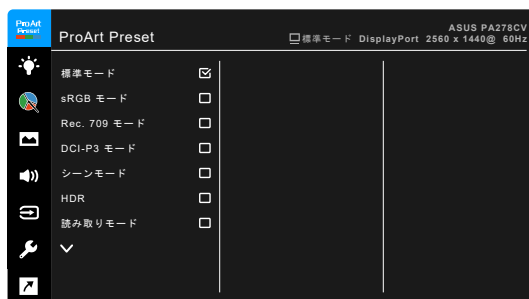


1. ボタン（電源ボタンを除く）を押して、OSD メニューを開きます。
2. ☰メニューボタンを押して OSD メニューを開きます。
3. スクリーンに表示されるボタンを押して、機能をナビゲートしてください。任意の機能を選択し、✓を押して有効にしてください。選択した機能にサブメニューがある場合は、▼と▲を再度押すと、サブメニューの機能をナビゲートできます。任意のサブメニュー機能を選択し、✓を押して有効にします。
4. ▼および▲を押すと、選択した機能の設定を変更できます。
5. OSDメニューを終了して保存するには、OSDメニューが表示されるまで↶または✕を押します。他の機能を調整するには、ステップ 1-4 を繰り返します。

3.1.2 OSD 機能の説明

1. ProArt Preset

この機能には 11 つのサブ機能があり、お好みに合わせて選択いただけます。各モードにはリセット選択があり、設定を維持したり、プリセットモードに戻ることができるようになっています。



- **標準モード**：ドキュメント編集に最適です。
- **sRGB モード**：sRGB カラースペースと互換があり、sRGB モードは、ドキュメント編集に最適な方法です。



sRGB モードは Energy Star® 要件を満たしています。

- **Rec. 709 モード**：Rec. 709 カラースペースと互換があります。
- **DCI-P3 モード**：DCI-P3 カラースペースと互換があります。
- **シーンモード**：風景画を表示するのに最適です。
- **HDR**：ハイダイナミックレンジ。2つのHDRモード（**PQ Optimized**および**PQ Clip**）モードが含まれます。
- **読み取りモード**：読書に最適です。
- **暗室モード**：照明が暗いときに最適です。
- **高速レンダリングモード**：高リフレッシュレートの性能をシミュレートして、別のバックライト周波数を生成します。



高速レンダリングモードは 75 Hz でしかアクティベートされません。



この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。Adaptive-Sync をオフにします。
明るさ、ブルーライト低減、ASCR、Trace Free はこの機能を使用している間は調整できません。

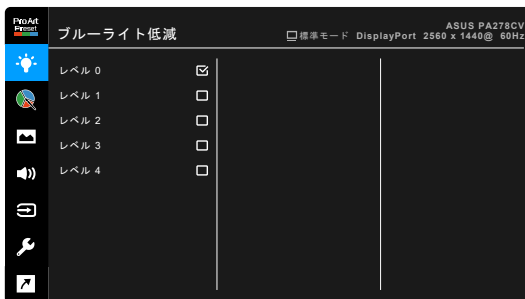
- ユーザーモード1/ユーザーモード2：詳細な色調整を行うことができます。

次の表は、各 ProArt Preset モードの既定値をまとめたものです。

機能	標準モード	sRGBモード	Rec.709モード	DCI-P3モード	シーンモード	HDRモード	読み取りモード	暗室モード	高速レンダリングモード	ユーザーモード1/ユーザーモード2
カラー	有効 (6500K)	無効 (6500K)	有効 (6500K)	有効 (P3-Theater)	有効 (6500K)	無効 (6500K)	無効	有効 (6500K)	有効 (6500K)	有効 (6500K)
明るさ	有効 (50)	無効 (100 ニット)	有効 (50) 100 ニット	有効 (50)	有効 (100)	有効 (100) パネルの最大輝度	有効 (12)	有効 (4)	有効 (50)	有効 (50)
コントラスト	有効 (80)	有効 (80)	有効 (80)	有効 (80)	有効 (80)	無効	有効 (80)	有効 (80)	有効 (80)	有効 (80)
ASCR	無効	無効	無効	無効	有効 (オフ)	無効	有効 (オフ)	有効 (オフ)	無効	有効 (オフ)
鮮明度	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)
彩度	有効 (50)	無効	有効 (50)	有効 (50)	有効 (50)	無効	無効	有効 (50)	有効 (50)	有効 (50)
色相	有効 (50)	無効	有効 (50)	有効 (50)	有効 (50)	無効	無効	有効 (50)	有効 (50)	有効 (50)
ProArtパレット/色	有効	無効	有効	有効	有効	有効 (RGB ゲインのみ)	有効	有効	有効	無効
黒レベル	有効	有効	有効	有効	有効	有効 (50)	有効	有効	有効	無効
ガンマ	有効 (2.2)	無効 (2.2)	有効 (2.4)	無効	無効	無効	有効 (2.2)	有効 (2.2)	有効 (2.2)	有効 (2.2)

2. ブルーライト低減

この機能では、ブルーライト低減レベルを調整できます。



- レベル0：変更なし。

- レベル 1~4**：レベルが高くなるほど、ブルーライトの量が少なくなります。ブルーライト低減を有効にすると、標準モードのデフォルト設定が自動的に向上されます。レベル 1 からレベル 3 の間では、ユーザーが調整できる機能は明るさです。レベル 4 は最適化された設定です。TUV 低ブルーライト認証に準拠しています。明るさはユーザーが調整することはできません。この機能を有効にすると、ECO Mode は自動的にオフになります。

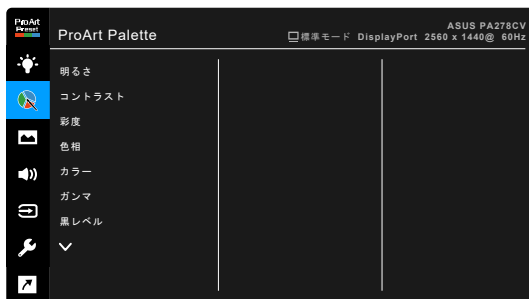


目の疲れを軽減するためには、次のアドバイスを参考にしてください。

- 長時間コンピュータの前に座っている場合は、時々休憩を入れてください。コンピュータを1時間連続操作した後は、短い休憩（5分以上）を取ってください。1回長い休憩を取るよりも、何度か短い休憩を取る方が効果的です。
- 目の疲れやドライアイを防止するには、定期的に遠くにある物を見つめて目を休めてください。
- 目の体操をすると、目の疲れを軽減できます。次に紹介する体操を時々行ってください。目の疲れがとれないときには、病院を受診してください。目の体操：(1)目を上下に動かす (2)目をゆっくりと回す (3)目を対角状に動かす。
- 強いブルーライトは目の疲れや AMD（加齢性黄斑変性症）を誘発します。ブルーライト低減をご使用になると、70%（最大）のブルーライトを削減して CVS（コンピュータ視覚症候群）を防止することができます。

3. ProArt Palette

このメニューから希望のカラー設定を設定します。



- 明るさ**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- コントラスト**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- 彩度**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- 色相**：緑と紫の間で画像の色をシフトします。
- カラー**：9300K、6500K、5500K、5000K および P3-Theater の 5 つのモードがあります。

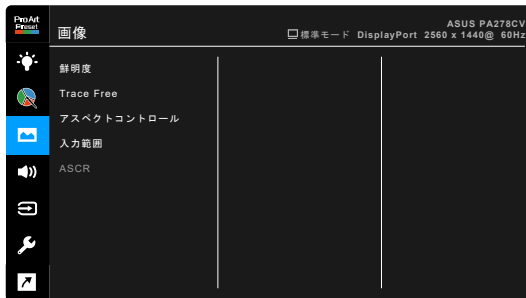


P3-Theater は DCI-P3 モードが選択されている場合に限り有効です。

- **ガンマ**：カラーモードを 2.6、2.4、2.2、2.0、1.8 (Mac) に設定します。
- **黒レベル**：最も暗いグレイレベルの第一信号レベルを調整します。
- **色**：
 - * 6 軸色相調整。
 - * 6 軸彩度調整。
 - * 赤、緑、青のゲインレベルを調整します。
 - * 赤、緑、青の黒レベルオフセット値を調整します。
- **色のリセット**：
 - * リセットされた現在のカラーモード：
現在のカラーモードを工場出荷時の初期値設定にリセットします。
 - * リセットされたすべてのモードカラー：
すべてのカラーモードを工場出荷時の初期値設定にリセットします。

4. 画像

このメニューから画像関連の設定を設定します。



- **鮮明度**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- **Trace Free**：モニターの応答時間を調整します。
- **アスペクトコントロール**：アスペクト比をフル画面、4:3、1:1、または OverScan に調整します。



4:3 は入力ソースが 4:3 形式のときのみ使用できます。OverScan は HDMI 入力ソースでのみ使用できます。

- **入力範囲**：ディスプレイの黒から白までの全表示範囲をマップします。
- **ASCR**：ASCR (ASUS Smart Contrast Ratio) 機能のオン / オフを切り替えます。

5. サウンド

このメニューからボリューム、ミュート、音声入力を調整できます。



- **ボリューム**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- **ミュート**：モニターのサウンドのオンとオフを交互に切り替えます。
- **音声入力**：モニターのサウンドソースを決定します。

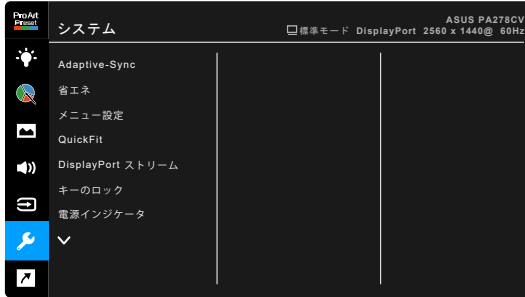
6. 入力選択

入力ソースを選択できます。



7. システム

システムの調整ができます。



- **Adaptive-Sync** : Adaptive-Sync 対応*のグラフィック ソースで、省エネ、縦ブレ防止、低レイテンシー ディスプレイ アップデートを実現するために、標準コンテンツのフレームレートをもとにディスプレイのリフレッシュ レートをダイナミックに調整できます。



* Adaptive-Sync は 48Hz ~ 75Hz でしか有効にできません。

* 対応する GPU、PC の最低システム要件、ドライバ要件については、GPU の製造元にお問合せください。

この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。DisplayPort ストリームを DisplayPort 1.2 に設定します。

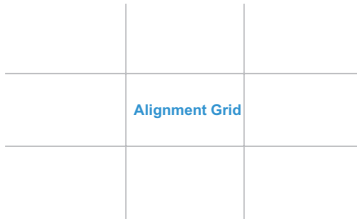
- **省エネ** :

- * 「標準レベル」では、モニターが省エネモードに入っても USB ダウンストリームポート/USB Type-C ポートで外付けデバイスに充電できます。
- * 「ディープレベル」ではモニターが省エネモードに入ったときには、USB 信号を自動的に検出し、どのようなポートでも外付け機器に充電することはできません。

- **メニュー設定** :

- * OSD タイムアウトを 10 ~ 120 秒の範囲で調整します。
- * DDC/CI 機能の有効/無効を切り替えます。
- * OSD の背景を不透明から透明まで調整します。

- **QuickFit**：テスト印刷を行わなくても、画面上で直接ドキュメントや画像のレイアウトをプレビューできます。
 - * **Alignment**：デザイナーおよびユーザーは、ページ上でコンテンツやレイアウトを構成し、見た目に統一感を持たせることができます。



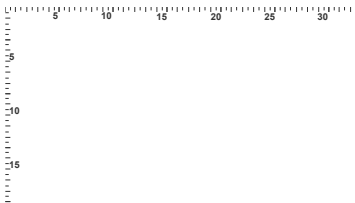
- * **A4**：画面上でドキュメントを実際のサイズで確認できます。



- * **B5**：画面上でドキュメントを実際のサイズで確認できます。



- * **Ruler**：このパターンには上および左に実際のルーラーが表示されます。← 戻るボタンを 3 秒以上押し、単位をメートル法から帝国単位に変更できます。



- **DisplayPort ストリーム**：グラフィックカードとの互換性。グラフィックカードの DP バージョンに応じて DisplayPort 1.1 か DisplayPort 1.2 を選択します。

- **キーのロック**：すべての機能キーを無効にします。右から 2 番目のボタンを 5 秒以上押してキーロック機能をキャンセルします。
- **電源インジケータ**：電源LEDインジケータのオン/オフを切り替えます。
- **言語**：21 の言語（英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、ポルトガル語、ロシア語、チェコ語、クロアチア語、ポーランド語、ルーマニア語、ハンガリー語、トルコ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、タイ語、インドネシア語、ペルシャ語）
- **情報**：モニター情報を表示します。
- **すべてのリセット**：「はい」でデフォルト設定を復元できます。

8. ショートカット

ショートカット 1 ボタンとショートカット 2 ボタンの機能を定義します。



- **ショートカット 1/ショートカット 2**：ショートカット 1 ボタンとショートカット 2 ボタンの機能を選択します。



特定の機能が選択されたりアクティブになっているとき、ショートカットキーがサポートされないことがあります。ショートカットの使用可能な選択：ブルーライト低減、明るさ、コントラスト、カラー、ボリューム、sRGB モード、Rec.709 モード、ユーザーモード 1/ユーザーモード 2。

3.2 仕様の要約

パネルタイプ	TFT LCD
パネルサイズ	27" (16:9、68.47 cm) ワイド画面
最大解像度	2560 x 1440
ピクセルピッチ	0.2331 mm x 0.2331 mm
明るさ (標準)	350 cd/m ²
コントラスト比 (標準)	1000:1
コントラスト比 (最大)	100,000,000:1 (ASCR をオンにした場合)
表示角度 (H/V) CR>10	178°/178°
画面の色数	1670 万色
応答時間	≤ 5 ms
ProArt Preset 選択肢	11 つのビデオプリセットモード
自動調整	なし
カラーの選択	5 つのカラー
アナログ入力	なし
デジタル入力	DisplayPort v1.2、HDMI v1.4、USB Type C で DisplayPort
デジタル出力	DisplayPort
イヤフォンジャック	あり
オーディオ入力	なし
スピーカー (内蔵)	2 W x 2 ステレオ、RMS
USB 3.2 Gen 1ポート	1 x USB 3.2 Gen 1タイプC、 4 x USB 3.2 Gen 1タイプA
色	黒、シルバー
電源 LED	白 (オン) / 橙色 (スタンバイ)
チルト	+35° ~ -5°
ピボット	+90° ~ -90°
回転	+45° ~ -45°
高さ調整	150 mm
ケンジントロック	あり
AC 入力電圧	AC : 100 ~ 240 V
消費電力	電源オン : < 21.28 W** (標準)、スタンバイ : < 0.5 W (標準)、電源オフ : 0 W (スイッチオフ)
温度 (動作時)	0°C ~ 40°C
温度 (非動作時)	-20°C ~ +60°C
スタンドなしの寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	615 x 372 x 54 mm
スタンドを含めた寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	615 x 524 x 228 mm (最高)、 615 x 374 x 228 mm (最低)
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	804 x 484 x 161 mm (パッケージ)
重量 (およそ)	8.8 kg (実質)、5.9 kg (スタンドを含まない)、 10.9 kg (総量)

多言語	21 の言語 (英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、ポルトガル語、ロシア語、チェコ語、クロアチア語、ポーランド語、ルーマニア語、ハンガリー語、トルコ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、タイ語、インドネシア語、ペルシャ語)
付属品	クイックスタートガイド、保証書カード、電源コード、HDMI ケーブル (別売り)、DisplayPort ケーブル (別売り)、USB C - A ケーブル (別売り)、USB C - C ケーブル (別売り)、カラー校正テストレポート、ProArt ウェルカムカード、ケーブルホルダー
法令準拠と規格	cTUVus、FCC、ICES-3、EPEAT Bronze、CB、CE、ErP、WEEE、TUV-GS、TUV-Ergo、ISO 9241-307、UkrSEPRO、CU、CCC、CEL、BSMI、RCM、MEPS、VCCI、PSE、PC Recycle、J-Moss、KC、KCC、e-Standby、PSB、Energy Star 8.0、TCO、RoHs、CEC、TUV Flicker free、TUV Low Blue Light

*仕様は事前の通知なしに変更することがあります。

**オーディオ/USB/カードリーダーを接続せずに、200 ニトのスクリーン輝度を測定しました。

3.4 トラブルシューティング（よくあるご質問）

トラブル	対応策
電源 LED がオンにならない	<ul style="list-style-type: none">● ボタンを押してモニターがオンモードであることを確認します。● 電源コードがモニターとコンセントに正しく接続されていることを確認します。● 電源スイッチがオンになっているかどうかをチェックします。
電源 LED が橙色に点灯し画面画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">● モニターとコンピュータがオンモードであることを確認します。● 信号ケーブルがモニターとコンピュータに正しく接続されていることを確認します。● 信号ケーブルのピンが曲がっていないかどうか点検します。● コンピュータを他のモニターと接続して、コンピュータが正しく動作することを確認します。
画面画像が明るすぎる / 暗すぎる	<ul style="list-style-type: none">● OSD でコントラストと明るさの設定を調整します。
画面画像が跳ねたり、画像に波模様が入る	<ul style="list-style-type: none">● 信号ケーブルがモニターとコンピュータに正しく接続されていることを確認します。● 電気障害を起こす可能性のある電気デバイスを遠ざけます。
画面画像の色に異常がある（白が白に見えない）	<ul style="list-style-type: none">● 信号ケーブルのピンが曲がっていないかどうか点検します。● OSD ですべてのリセットを実行します。● OSD で赤/ 緑/ 青の色設定を調整するかカラーを選択します。
音が出ない/ 音声が低い	<ul style="list-style-type: none">● HDMI/DisplayPort/USB C - C ケーブルがモニターとコンピュータに正しく接続されていることを確認します。● モニターと HDMI/DisplayPort/USB C デバイスのボリューム設定を調整します。● コンピュータのサウンドカードドライバが適切にインストールされ、有効になっていることを確認します。

3.5 サポートするオペレーティングモード

解像度周波数	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル (MHz)
640x480	31.47(N)	59.94(N)	25.18
640x480	35.00(N)	66.66(N)	30.24
640x480	37.87(N)	72.82(N)	31.5
640x480	37.5(N)	75.00(N)	31.5
720x400	31.47(N)	70.08(P)	28.32
800x600	35.16(P)	56.25(P)	36
800x600	37.88(P)	60.32(P)	40
800x600	46.86(P)	75.00(P)	49.5
1024x768	48.36(N)	60.00(N)	65
1024x768	56.476(N)	70.069(N)	75
1024x768	60.02(N)	75.00(N)	78.75
1152x864	67.5(P/N)	75.00(P/N)	108
1280x720	45.00(P)	60.00(N)	74.25
1280x768	47.78(P)	60.00(N)	79.5
1280x800	49.7(P)	60.00(N)	83.5
1280x960	60.00(P)	60.00(N)	108
1280x1024	63.98(P)	60.02(P)	108
1280x1024	79.98(P)	75.02(P)	135
1440x900	55.94(N)	59.89(P)	106.5
1600x1200	75.00(P)	60.00(P)	162
1680x1050	65.29(N)	60.00(P)	146.25
1920x1080	67.5(P)	60.00(P)	148.5
1920x1200 (リデュースドブラン キング)	74.038(P)	59.95(N)	154
1920x1200	74.556(N)	59.885(P)	193.25
2048x1152 (リデュースドブラン キング)	70.99(P)	59.9(N)	156.75
2560x1080	66.636(P)	59.978(N)	181.25
2560x1440	43.75(P)	29.945(N)	119
2560x1440	88.787(P)	59.951(N)	241.5
2560x1440	111.786(P)	74.924(N)	298.47

「P」/「N」は、入力 H-sync/V-sync (入力タイミング) の「プラス」と「マイナス」の極性を示しています。

モニターがビデオ モードで作動している場合は（データを表示しない）、標準制度ビデオに加え、次の高精度モードもサポートされます。

タイミング名	ピクセル フォーマット	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルレート (MHz)
480p	720 x 480	31.469	60	27
720p60	1280 x 720	45	60	74.25
576p	720 x 576	31.25	50	27
720p50	1280 x 720	37.5	50	74.25
1080p24	1920 x 1080	27	24	74.25
1080p25	1920 x 1080	28.125	25	74.25
1080p60	1920 x 1080	67.5	60	148.5
1080p50	1920 x 1080	56.25	50	148.5